

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		渉外事務費[渉外事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号	10	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課		秘書		係	課長名	五十嵐 孝雄
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書(ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市長及び副市長			人数					
	→								
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	対応すべき公務を行うことができる。			秘書担当の責により対応できなかった公務の数 / 対応すべきであった公務の数					
	→								
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	市民団体や外部組織等との調整を図り、公務日程を調整し、必要な準備等を行った。			対応した市長公務の数					
	→								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2	2	2	/		
	成果指標	②の数値	%	0	0	0			
	目 標	②の目標値	%	0	0	0			
		目標値設定の考え方							
		市長・副市長が対応すべき公務の全てを行うことができるようにする。							
3 経費	事業費(実績)	円	2,346,667	2,360,513	2,371,635	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	円	2,346,667	2,360,513	2,371,635				
	一般財源	円	0	0	0				
	特定財源(国・都・他)	円	0	0	0				
	(うち受益者負担)	円	0	0	0				
	所要人数(再任用以外)	人	1.5	1.7	1.7				
	所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0				
職員人件費(再任用以外)	円	12,366,000	14,127,000	14,246,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費	円	14,712,667	16,487,513	16,617,635					
4 環境変化等	(1) 開始年度	S45 年度							
	(2) 環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部団体との情報交換や交渉にあたって必要となる交際費については、全国的にも、支出に関する情報公開請求や住民監査請求等が提起される事例が多く、社会的にも公務として適正な執行が求められている。</li> <li>当市においては、令和2年度に交際費支出基準の見直しを行い、交際費として支出できる項目を明確にし、より適正かつ円滑な執行が行えるようにした。</li> </ul>							

事業名称	渉外事務費[渉外事務]				
担当部署・課長名	秘書広報	課	秘書	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	この仕事に関する意見や要望はなかった。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ  <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市長交際費支出記録簿の窓口ならびにホームページでの公表）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
情報提供は、市民協働において重要な要素であることから、引き続き、適時・的確な情報提供に努めたい。		
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記）	
	限られた時間の中で行う外部団体との情報交換のあり方についての検討は、今後も継続していく必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、感染拡大防止に配慮した対応が求められた。そこで、新たにWeb会議システムを利用し、リモートで外部団体との情報交換等を行った。また、対面で行う必要があるものは、少人数、短時間とし、机上にアクリルパネルを設置して、飛沫による感染防止に努めながら、情報交換等の機会を設けた。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
コロナ禍での感染拡大防止に配慮した外部団体との情報交換のあり方について、検討する必要がある。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある    事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 コロナ禍においても、必要な公務を滞りなく実施できるよう、適切な調整や対応を行う。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
コロナ禍での感染拡大防止のため、人との接触機会を減らすよう、対応する公務内容の精査が必要である。		